



エコロジア第二太陽光 発電所だより vol.01



発行：2016年4月6日
株式会社エコロジア
080-5458-1477
<http://www.ecolosia.jp>

発電所の近況報告

第一太陽光発電所（袖ヶ浦市永地）の弟分として昨年4月24日に完成したここ有吉の第二発電所もうすぐ1年経ちますが、おかげさまで順調に発電しています。

この発電所から東京電力への供給量は、昨年約8ヶ月間で58,326 kWh、今年は3月までで19,729 kWh、開所以来の累計78,055 kWh（標準的世帯の約21.7年分）となりました。

日照の良い場所と天候に恵まれ、当初見込みより3割以上良い結果となりました。（その分、雑草の伸び具合も想像以上で、草刈りの大変さも身にしました）

さて、空が明るく太陽電池が発電している時には、発電所で出来た電気は東京電力の電線を通して近くのお宅へ流れていきます。実際

には、東京電力が運転している火力発電所や水力発電所など色々な電源（東電の原子力発電所は全て停まったままです）からの電気と混ざりますが、有吉に降り注ぐ太陽光で出来た地元産の自然エネルギーをお使いいただいていることには間違いありません。

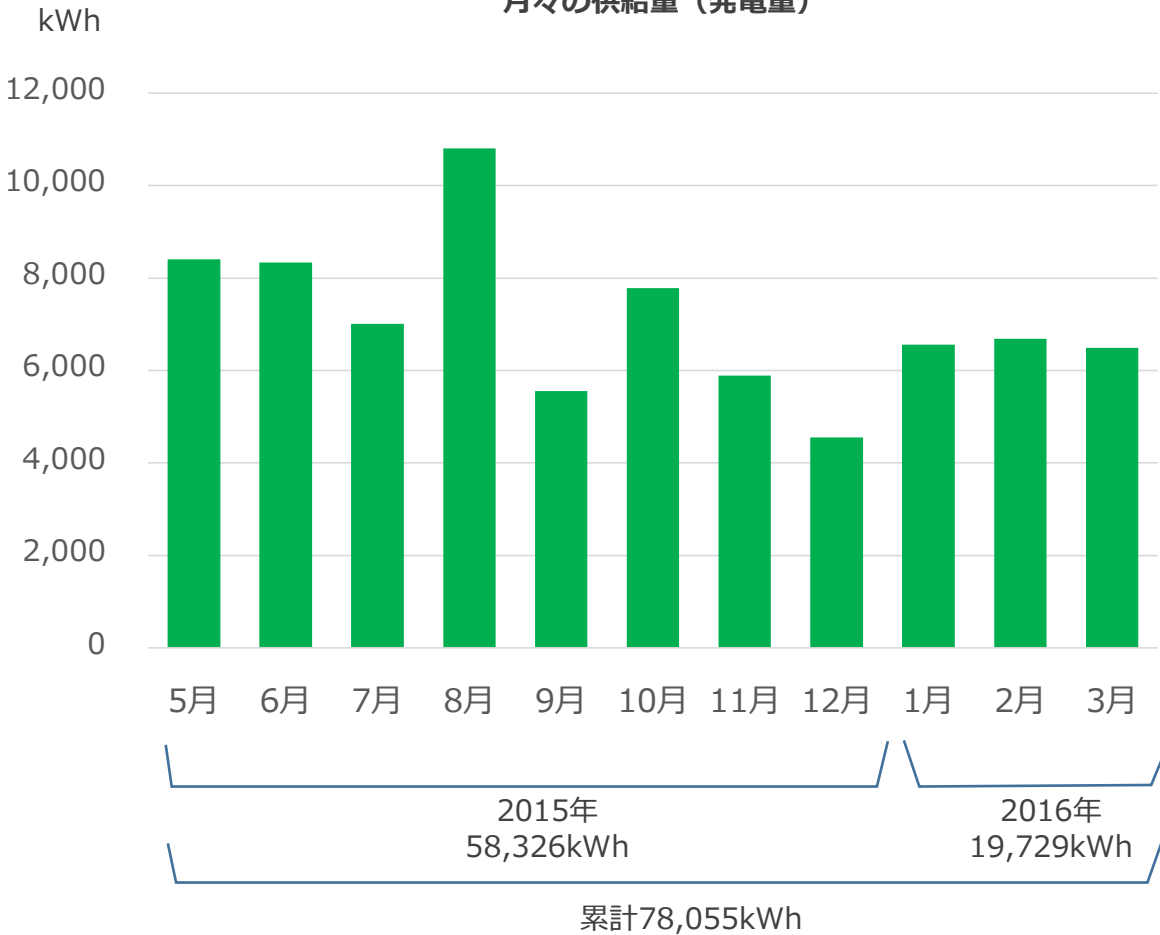
有吉にある太陽光発電所をより身近に感じていただけますよう、不定期の発行とはなりますが、時々の特ピックスを載せて「発電所だより」をお届けしたいと思います。

また、なにかお気づきの点やご質問などございましたら、右上に記載している電話番号までお問い合わせください。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

株式会社 エコロジア
代表取締役 林 彰一

月々の供給量（発電量）



目次

（表）

・発電所の近況報告

・NHKで放映されました

（裏）

・電力小売全面自由化と発電所

・保守点検のご報告

・地域貢献（非常時電源）

・スナップショット

・発電所プロフィール

NHKで放映されました



1月27日放送のNHK朝のニュース「おはよう日本」の電力小売全面自由化特集コーナーで、永地の発電所が取材され、弊社の代表インタビューが放映されました。その後も民放各社の電力自由化特集で度々紹介されています。顔のみえる発電所として、ちょっとした全国区デビューです・

（詳しくは裏面をご覧ください）

電力小売全面自由化と発電所

エコロジアは、今月3月より発電した電気の卸し先を東京電力から、**みんな電力**に切替えました。

4月1日からの電力小売全面自由化に伴って、この会社は一般家庭向けの電力供給ビジネスに参入しましたが、「顔の見える電力会社」という異色のコンセプトを打ち出して、NHKや民放の報道特集や新聞・雑誌などで大きく紹介されている今注目の電力会社です。それで私たちの発電所もよく取材されるようになりました。ここと契約する消費者は、有吉の太陽光発電所の電気を選んで買うことができるようになります。有吉や井尻の皆さんが選んでくだされば、本物の地産地消が実現します。太陽光、風力、バイオマス等の自然エネルギーを中心とした電気を供給する（全体の約70%）ということ

ですから、こうした会社を応援することで、温暖化対策上問題のある火力発電所や将来世代にずっと負担を強いる原子力発電依存から転換を図る未来へ一票を投じられます。

みんな電力は6月頃から本格的に販売を拡大していくそうです。

宜しければ、ぜひインターネットなどで調べてみてください。



有吉の発電所で記念撮影
(御近所の寺田様ご夫妻と 撮影：新井延幸)

保守点検のご報告



昨年12月8日と本年1月8日に、発電所の定期点検を行いました。

電気系統の点検に加え、架台や太陽電池パネルの取付に弛みがないか、ボルトを全数チェックしました。

結果は、「合格」。電気系統は問題なし、ボルト点検では

720本中228本もの弛みを見つけ、増締めを行いました。

昨年は、突風や大型の台風により群馬県伊勢崎市や九州各地で太陽光発電所が破壊された様子が繰り返し報道されました。

人命に関わるような深刻事故に至ったケースはありませんでしたが、ほとんどは強度設計が不十分で、杜撰な施工が原因だったようです。弊社太陽光発電所は、地盤調査と法令に基づき架台強度設計を確認したうえで建設致しましたが、障害物がほとんどなく強風が吹き抜ける田園地帯の有吉では、振動で次第にボルトが緩む危険が潜んでいます。今回発見した弛みは、施工時からのものなのか分かりませんが、半年に1度のボルト点検を怠らないように気を引き締めたいと思います。



エコロジアでは、万一の被害事故のために損害保険に加入し、また、低圧発電所では義務付けられていない消火器も設置しています。

地域貢献（非常時電源）

この発電所は、地元で愛されたいという願いから、地域貢献をはじめから考えて企画しました。やはり一番お役に立てるのは、災害などで発生する大規模な停電時に、非常用電源になれることだと思います。

蓄電池に太陽電池で電気をためて、西側ゲート付近のフェンスに設置した「コミュニティ・コンセント」から100Vの電気を供給しています。万一の場合は、蓄電池ごと運搬して有吉公会堂で電気が使えるよう、ご近所の寺田様、野寄様に発電所の鍵と手順書をお預かり頂いています。



春に植えたシバザクラ



花が美しいオクラ



発電所には珍しい雨水タンク



菜園の収穫



エコロジア 第二太陽光発電所

コミュニティ型発電所＜蓄電電力無償供給＞

再生可能エネルギー発電設備（低圧50kW未満）

所在地：千葉県木更津市有吉1570-1他
太陽電池モジュール：72.0kW（多結晶250W×288枚）
パワーコンディショナ：49.5kW（三相3線式9.9kW×5台）
年間予想発電量：66,921kWh（平均家庭約19軒分）
運転開始日：2015年4月24日

協力事業者/アドバイザー（敬称略）：
（株）Loop、施工者 渡邊祐一・和明、（株）キャムズ、
（有）日商総合コンサルタント 入盛本重佳、（有）エムデザインファクトリー
松下高弘、NPO法人 太陽光発電所ネットワーク 伊藤博文

連絡先：



株式会社 エコロジア
www.ecolosia.jp
050-3634-1477（担当者：林）



あぶないよ



はいらないで



5年、10年かけてこんなふうな
緑に囲まれた発電所を目指します